



# にゅーすれたーふじやま・長泉



2017. 8

## 社会を明るくする運動

### パナソニックエイジフリーショーブ



平成29年度「社会を明るくする運動」富士市大会が7月1日（土）ロゼシアター小ホールで開催されました。「社会を明るくする運動」とは犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ]すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

戦後の混乱が続いていた昭和24年、街にあふれていた地域の子どもの将来を危惧した東京・銀座商店街の人たちが非行予防と少年保護を目的として始め、昭和26年からは法務省により全国で行われるようになりました。今年で67回目です。毎年「更生保護の日」である7月1日からの1ヶ月を強調月間として、全国各地で数多くの住民や団体の参加の下、シンポジウム、ミニ集会、街頭広報活動など、地域の特色を活かしながら、大人と子どもが気軽に参加しふれあえるような様々な活動が行われます。今、安心して安全な暮らしをかなえるために、何が求められているのか、そして自分に何ができるのか考えてみませんか。大会は（第1部）講演会（第2部）街頭啓発出発式で開催されました。

講演会は富士市出身のフリーアナウンサー渡辺弥生さんを講師に「一流に学ぶ“人生を輝かせる鍵”」と題して話されました。彼女はプロ野球のOB選手との仕事が多く、多くを学んだそうです。長嶋、張本、中畑など懐かしい選手の名前が出て、聞き入ってしまいました。人はだめだ、だめだと言いつけると本当にだめな人間になってしまう。中村天風（日本初のヨガ行者。思想家、教育者）も「言葉は人生を左右する力がある」と言っています。一流という人をみると自分を否定しない、積極的な人が多いようです。渡辺弥生さんは最後に人生を輝かせる鍵として次の10項目をあげました。①積極的な言葉を使う ②自己認識 ③観察眼 ④高い目標 ⑤強い目標 ⑥強い気持ち ⑦健康管理 ⑧努力 ⑨ピンチをチャンスに ⑩継続 とても楽しく聴くことができました。参考にさせていただきます

第2部は平成28年度社会を明るくする運動富士市作文コンテストで優秀な成績の藤井智弘君、伊藤渚さん、砂川麗さん、志田宗久君による作文の朗読がありました。それぞれに立派な作文ばかりで感動しました。その後、閉会と同時に各地区の街頭啓発活動に向かいました。 渡邊啓視



私の最近のお気に入り「球ランタン」枕元にいつも置いてある便利グッズ！オシャレで、軽くて、コードも充電もいらない、夜の緊急事態には絶対効果あり。横着な私には必需品です。あなたもどうぞ！

